

令和4年度「先進的省エネルギー投資促進支援事業費補助金」
「先進事業」における『先進設備・システム』公開用概要書

製造会社情報（コンソーシアムの場合は、幹事社）

設備/システム名	廃植物油焚き貫流蒸気ボイラ（環境循環型ボイラ）
型番	AI-1500DH, EH-750F
会社名	三浦工業株式会社
本社所在地	愛媛県松山市堀江町7番地
会社WEBページURL	https://www.miuraz.co.jp/
製品紹介ページURL	https://mymiura.com/

製品についてのお問い合わせ先

連絡先	お電話でのお問い合わせ（平日 9:00～12:00、13:30～17:00） 支店・営業所一覧(https://mymiura.com/offices) メールフォームからのお問い合わせ(https://mymiura.com/contact/)
-----	--

登録設備情報

導入可能な主な業種・分野	E. 製造業	M. 宿泊業、飲食・サービス業	R. サービス業（他に分類されないもの）
導入対象となる分野・プロセス	蒸気発生プロセス		
導入事例の省エネ量（原油換算：k1）	68	k1/年	
工場・事業場当たりの想定省エネ率	4.5	%	
設備・システム当たりの想定省エネ率	20.9	%	
導入事例における費用対効果（年間）	42.3	k1/千万円	
1台又は1式当たりの想定導入価格（参考）	16,100,000	円	
保守・メンテナンス等の年間ランニング費用	1,000,000	円/年	

製品・システムの概要

<p>廃植物油を燃料とするボイラであり、化石由来エネルギーの使用量を低減する。加えて、CO2排出量、産業廃棄物、ランニングコストの削減にも寄与する。</p> <p>燃料性状に関して、BDF（バイオ・ディーゼル・ヒューエル）のようなメチルエステル化（リサイクル工程・精練）までは要求しない。バーナノズル、噴霧圧力、燃料タンクや送油システムの保温・昇温設定などを個別調整することで、廃油中の不純物を取り除くといった簡易な操作で燃料として使用可能である。</p> <p>廃植物油を専燃できない場合、お客様のサービスタンクより混合燃料が供給できない場合は、ミキシングユニットにより廃植物油とA重油または灯油との混合を行う。</p>

先進性についての説明

<p>廃植物油は、原料の由来や発生源により、成分組成（発熱量や夾雑物）や品質（流動性や燃焼性）に大きなバラツキがある。 ミウラでは、これら不安定な燃料性状に伴う納入後のトラブルを回避するため</p> <ul style="list-style-type: none">・燃料の化学分析等を自社で実施・実機バーナでの燃焼試験による事前確認を徹底 <p>廃植物油は、燃焼時に発生する煤によって効率低下するため、水平ヒレ水管や裸水管の採用により煤洗浄性の向上を行っており、バーナについても着脱や掃除のしやすさなどメンテナンス性に配慮した構造としている。</p>
--

製品・システムの概要・イメージ図



導入事例の概要・イメージ図

